

子どもボランティアサミット(大人向け)アンケート

実施日 平成 30 年 12 月 16 日

有効回答数 12 通

・所属

教育関係 (3)、行政関係 (6)、地域活動関係 (4)

・活動報告はいかがでしたか？

とても満足 (11)、どちらかというと満足 (2)、少し期待と違った (0)

・宣言文の採択はいかがでしたか？

とても満足 (12)、どちらかというと満足 (1)、少し期待と違った (0)

・今後子どもたちの活動を応援していただけますか？

ぜひ応援したい (11)、機会があれば応援したい (2)、応援の予定はない (0)

【今日のサミット全体の感想、子どもたちへのメッセージなどをお聞かせください。】

- 宣言にも掲げられたようにキーワードは、笑顔でした。もっと多くの人を笑顔にしたい、たくさんの人を笑顔にするためにと述べたことから子どもたちが、活動をとおして自分達のすることで人が喜んでくれるんだ!! ということを感じてくれてそれをもっとしたいという気持ちを持ってくれているんだと嬉しく思えたサミットでした。

これからもどんなときもボランティアに 素直な心で取り組んでくれることを期待します。今のままの素直な心で・・・

- 子ども達の交流で出来上がったボランティア宣言に心が響き私自身も再確認を致しました。子ども達が笑顔でこれからも活動して行って欲しいと将来も楽しみ！と痛感しました。私も出来る範囲のサポートをしていきたいと思っています。

最後に猪俣さんはじめ社協の皆様のご尽力あればこそ出来上がったサミットだと思っています。有難うございました！

- ボランティア宣言にもあるように「楽しく活動する」ことが一番です。無理のない活動を、長～く続けてみて下さいネ。
- 人を思いやる気持ちは大人になっても忘れないで下さい！
- このままボランティア精神をもちつづけてもらいたい。
- 阪南市内の中学校にも子供福祉委員の組織が出来、昨日のように、サミットとなづけ、他校との交流会を持たれた事は大変意義深かったと思います。小学生、中学生の時代からボランティアに興味、感心をもち、自分もその中に入って、実践していく経験は、大変大きな意味のあるものと、思います。

昨日の中学生の言葉で多くの子供は、人の役にたちたい、笑顔にしたい、と発表

していましたが、自己中心になりがちな社会で、人の事を考えたり、思いやったりする心、自分に出来る事で周りの人の役に立つことは何か、などの気持ちをこれから成長していくなかで、しっかり育てて行ってほしいと思います。昨日の子ども言葉の中で、見返りを求めないという事を言っていましたが、とても感心しました。ボランティアをする上で最も大切な事ですね。

昨日のような子供福祉委員の組織を立ち上げられたのは、阪南市社会福祉協議会や中学校の先生方の指導と理解があるからこそ、昨日のようなサミットが出来たんだと思います。

- 中学校を卒業しても継続した活動をお願いしたい。例えば **Smile** に加入する等。
- 一歩ふみだした子どもたちの姿がまぶしく立派に育ってほしいと思いました。人のためだけではなく、自分のために引きつづき頑張してほしいです。
- スマイルの成長、飯中の福祉委員の成長に感動します。さらに広がればと思います。
- ボランティアをすることで自分自身が成長し、達成感を味わうことを身近な人に伝えてボランティアの輪が広がるといいですね。
- 今回の子どもボランティア宣言に盛り込まれた「人の笑顔」「楽しく活動」の言葉にとても感銘を受けました。これから、もっとたくさんの人を笑顔にするために楽しく頑張って下さい。
- ボランティアは自分が楽しんです。笑顔を見れると嬉しいと話されていた事がとても印象に残っています。必ずこれからの糧となると思いますので、ぜひこれからも無理のない範囲で活動続けて頂けるといいなと感じました。
- 阪南市は子ども福祉委員や **Smile** など、学生がボランティア活動に参加し活動する基盤がしっかりと整備されていると感じた。これは他市には無いもので、本当に素晴らしい。
- 子どもから大人に向けて活動内容や想いを自分の言葉にして伝えることそのものが、本人の成長の機会であり、また大人にとっても新たな視点に気付く学びの場となります。活動内容はもちろん、そこから学んだこと、感じたことを積極的に友達、家族、先生、地域の皆さんに共有してください。

【子ども福祉委員・学生ボランティア活動を支援している「社協」へのご期待やご意見があればお聞かせください】

- 子どもボランティアの家族の方への波及効果を期待しています。
- 子どもさんのボランティアの事例を発表してほしい→子供さんが発表。
保護者の感想（子供が Vo に参加することによっての変化は）

受付や司会も子供さんがしたら、もっとよかったかも？です。

- 全ての小・中学校へ広がるようお願いします。また実施済の学校では継続できるよう併せてお願いします。
- 子ども委員ボランティア活動を自主的にされる中、アドバイスやサポートなど社協として積極的に取り組まれるよう期待しています。フットワーク軽く動けるのは社協のメリットであると思います。
- 今回の子どもボランティアサミットでの子どもたちの報告を聞き、改めて「やらされている」のではなく自主性を持って活動していることがわかりました。今後も子ども福祉委員の活動発展、市内における取り組みのさらなる拡大を期待しています。

(その他、5点のサミット運営への課題や改善点のご指摘・ご意見をいただきました。内部で共有し、一つひとつに改善を図っていきます)

<サミット運営への課題指摘>

会の運営について気になったことがあります。

◎おかしが出たこと…子どもたちにはアレルギーがある場合もあります。それを想定すると、少し配慮がたりないかなと思いました。

◎写真の取扱いについて説明が甘かったこと…最近では学校園の行事でも写真や動画をネットにアップしないように注意、説明をしています。たくさんの方が写真をとっていましたが、このあとどう扱われるのでしょうか。（肖像権、個人情報）

◎アイスブレイキングが甘かった…はじめて会うメンバーの中でかたさがあったと思います。グループのときに自己紹介だけでなく少しワークを入れればうちとけられたのにとします。全体的にはよい会でした。子どもの可能性を強く感じました。今後もよろしくお願いします。

後半の話し合いは子どもたちにとってはよかったが見学に来ている人達には少し時間をもてあました。人を呼ぶなら見せることが必要である。

サミットでの一部だけを見て言うべきかどうかのことですが。お菓子の配布はアレルギーに敏感な学校の立場からすると違和感を感じます。子どもたちのようすを携帯で撮っているのも個人情報の観点からやめてほしいと思いました。社協から地域の方への注意が必要かと思います。4つの交流班の分け方も…1班が多数、4班が少数になるのは明らかに工夫が必要でした。